

平家伝説が残る、緑深き絶海の島

しましま

島々

もよう

vol. 5

Kuroshima

黒島

高さ200メートルの断崖

黒島は三島村の最西端に位置し、面積と人口が村で最大の島です。島の中央部は、最高峰の櫓岳(標高622メートル)をはじめ、500メートルを超す山々が山塊を成しています。海岸部は強い波に削られて断崖が続ぎ、海に直接落ち込む滝、波蝕で形成された奇岩など、特異な地形が雄大な景観をつくり上げています。

また、島の約7割が原生林に覆われ、「薩摩黒島の森林植物群落」として国の天然記念物に指定されており、森林が断崖・斜面・山岳部にま



海岸線は断崖絶壁が続きます。



特攻平和観音像



たがり、それぞれで多様な生態系をつくりだしています。

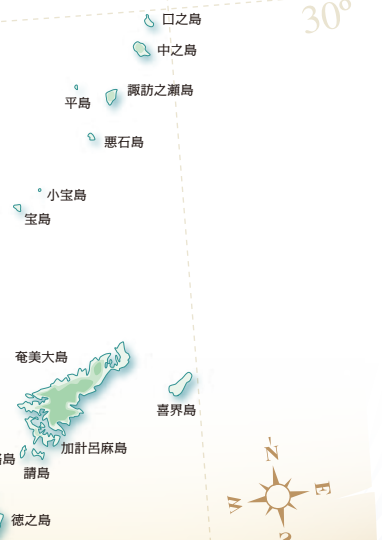
山岳部には櫓岳頂上を横切る遊歩道が整備され、水平線や硫黄島薩摩半島などを望む絶景は広く登山愛好家などを引きつけています。

黒島は平家の落人伝説の残る島でもあります。壇ノ浦から落ち延びた平家の残党が黒島にたどりつき、城を築いて追討軍と戦ったと伝えられており、平家城跡やイバドン(平家追討に遭わされた大庭家政の墓といった、史跡も見られます。

太平洋戦争中は特攻隊の故障機体が、黒島に不時着することもありました。島民に助けられた元特攻隊員が観音像を建立(黒島平和公園)し、毎年、平和を祈る慰霊祭が行われています。

特産品・観光イベントも魅力的

黒毛和牛の子牛生産が基幹産業で、島のあちこちで放牧風景が見られます。大自然の中で健康的に育った子牛「みしま牛」は市場で高く評価され、各地でブランド牛へと育て



られています。県の「特定離島ふるさとおこし推進事業」を活用し、牛舎・堆肥舎等の畜産振興施設整備も進められています。

同推進事業では観光の掘り起こしも実施。「アイランド・トレイル 2 days 黒島」という山岳マラソンイベントが平成23年から毎年開催されています。大自然をたっぷり感じられるコースに加え、島民との交流会も人気を呼んでいます。

島々メモ

仮面神が舞う 昔ながらの島の祭り

踊りを主体とした伝統的な祭りが多く、特に盆踊り(8月15日)と八朔踊り(9月1日)は盛大です。大里地区に約400年前から伝わる八朔踊りは、腰にひょうたんをぶら下げた仮面神(オニメン)たちが踊る「面踊り」が特徴的で、ほかに相撲踊り・大行列・長刀踊り・弓矢踊りも行われます。



- 【位置】 北緯30度49分29秒/東経129度56分29秒
- 【面積】 15.37km² 【周囲】 20.1km
- 【人口】 186人/100世帯(平成26年11月30日現在)
- 【地形】 中央部は山岳地形で海岸部は断崖。島全体が台状の地形。
- 【島名由来】 森林に覆われた島で、海から見ると黒く見えることから(『三国名勝図会』より)
- 【主な産業】 農業(シイタケ、大名竹)、畜産(肉用子牛生産)
- 【アクセス】 鹿児島市から村営の「フェリーみしま(1,196t)」が週3便運行。車両運搬可。所要時間は鹿児島港から約4時間50分。

お問い合わせ先:三島村役場 ☎099(222)3141 (所在地は鹿児島市内)